

学校法人青洲学園

財 務 情 報

資金収支計算書

平成26年04月01日から
平成27年03月31日まで

一般会計

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金収入	(668,000,000)	(678,212,500)	(△10,212,500)
授業料収入	381,000,000	388,462,500	△7,462,500
入学金収入	32,000,000	31,750,000	250,000
実験実習料収入	85,000,000	86,000,000	△1,000,000
施設設備資金収入	170,000,000	172,000,000	△2,000,000
手数料収入	(10,300,000)	(12,501,100)	(△2,201,100)
入学検定料収入	9,000,000	10,020,000	△1,020,000
試験料収入	1,200,000	2,280,000	△1,080,000
証明手数料収入	100,000	201,100	△101,100
寄付金収入	(5,000,000)	(23,500,000)	(△18,500,000)
一般寄付金収入	5,000,000	23,500,000	△18,500,000
補助金収入	(58,406,000)	(80,717,000)	(△22,311,000)
国庫補助金収入	58,406,000	80,717,000	△22,311,000
資産運用収入	(200,000)	(239,291)	(△39,291)
受取利息・配当金収入	200,000	239,291	△39,291
雑収入	(10,020,000)	(11,833,381)	(△1,813,381)
退職金社団交付金収入	5,520,000	7,717,800	△2,197,800
その他の雑収入	4,500,000	4,115,581	384,419
前受金収入	(137,500,000)	(142,250,000)	(△4,750,000)
授業料前受金収入	63,000,000	66,150,000	△3,150,000
入学金前受金収入	32,500,000	32,000,000	500,000
実験実習料前受金収入	14,000,000	14,700,000	△700,000
施設設備資金前受金収入	28,000,000	29,400,000	△1,400,000
その他の収入	(0)	(100,471,020)	(△100,471,020)
前期末未収入金収入	0	8,289,580	△8,289,580
預り金受入収入	0	64,855,688	△64,855,688
奨学金受入収入	0	11,520,000	△11,520,000
立替金回収収入	0	14,737,439	△14,737,439
仮払金収入	0	1,068,313	△1,068,313
資金収入調整勘定	(△141,000,000)	(△159,288,300)	(18,288,300)
期末未収入金	0	△18,288,300	18,288,300
前期末前受金	△141,000,000	△141,000,000	0
前年度繰越支払資金	(1,110,621,340)	(1,110,621,340)	
収入の部合計	1,859,047,340	2,001,057,332	△142,009,992
支出の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費支出	(542,171,000)	(534,931,598)	(7,239,402)
教員人件費支出	429,439,000	422,127,007	7,311,993

職員人件費支出	98,142,000	95,754,151	2,387,849
役員報酬支出	9,070,000	8,534,580	535,420
退職金支出	5,520,000	8,515,860	△2,995,860
教育研究経費支出	(135,679,000)	(129,119,897)	(6,559,103)
消耗品費支出	15,250,000	14,827,484	422,516
光熱水費支出	15,600,000	16,340,883	△740,883
旅費交通費支出	7,400,000	6,572,666	827,334
奨学費支出	4,050,000	4,050,000	0
通信運搬費支出	1,150,000	1,158,171	△8,171
保健衛生費支出	7,000,000	6,890,676	109,324
印刷製本費支出	3,000,000	2,395,774	604,226
新聞雑誌費支出	4,500,000	2,757,892	1,742,108
修繕費支出	1,000,000	4,657,364	△3,657,364
損害保険料支出	1,500,000	1,205,462	294,538
賃借料支出	4,010,000	3,428,603	581,397
諸会費支出	3,500,000	3,375,276	124,724
会議費支出	200,000	0	200,000
実験実習費支出	14,400,000	10,321,000	4,079,000
報酬・委託・手数料支出	30,000,000	29,933,393	66,607
学生諸費支出	16,619,000	15,325,919	1,293,081
行事費支出	2,500,000	2,097,424	402,576
雑費支出	4,000,000	3,781,910	218,090
管理経費支出	(67,206,000)	(68,810,956)	(△1,604,956)
消耗品費支出	2,090,000	2,507,214	△417,214
光熱水費支出	3,500,000	2,574,953	925,047
旅費交通費支出	4,000,000	5,575,587	△1,575,587
車輛燃料費支出	150,000	98,864	51,136
福利費支出	220,000	105,316	114,684
通信運搬費支出	2,850,000	2,703,239	146,761
保健衛生費支出	1,825,000	1,589,832	235,168
印刷製本費支出	2,117,000	1,639,764	477,236
出版物費支出	160,000	37,497	122,503
修繕費支出	2,000,000	2,560,711	△560,711
損害保険料支出	209,000	85,678	123,322
賃借料支出	17,729,000	17,603,978	125,022
公租公課支出	10,000	3,400	6,600
広報費支出(管)	14,000,000	13,660,318	339,682
諸会費支出	956,000	1,082,000	△126,000
慶弔慰労費支出	170,000	0	170,000
会議費支出	680,000	460,885	219,115
渉外費支出	550,000	460,120	89,880
報酬・委託・手数料支出	12,870,000	14,428,093	△1,558,093

雑費支出	1,120,000	1,633,507	△513,507
施設関係支出	(38,000,000)	(33,050,818)	(4,949,182)
建物支出	38,000,000	33,050,818	4,949,182
設備関係支出	(45,200,000)	(45,120,660)	(79,340)
教育研究用機器備品支出	38,000,000	38,387,028	△387,028
その他の機器備品支出	200,000	271,940	△71,940
図書支出	7,000,000	6,461,692	538,308
その他の支出	(22,000,000)	(108,557,914)	(△86,557,914)
前期末未払金支払支出	22,000,000	25,787,625	△3,787,625
預り金支払支出	0	56,582,730	△56,582,730
奨学金支払支出	0	12,629,400	△12,629,400
前払金支払支出	0	△1,109,750	1,109,750
立替金支払支出	0	14,587,439	△14,587,439
仮払金支払支出	0	80,470	△80,470
予 備 費	5,000,000		5,000,000
資金支出調整勘定	(△22,000,000)	(△53,948,268)	(31,948,268)
期末未払金	△22,000,000	△53,948,268	31,948,268
次年度繰越支払資金	(1,025,791,340)	(1,135,413,757)	(△109,622,417)
支 出 の 部 合 計	1,859,047,340	2,001,057,332	△142,009,992

消費収支計算書

平成26年04月01日から
平成27年03月31日まで

一般会計

(単位:円)

消費収入の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金	(668,000,000)	(678,212,500)	(△10,212,500)
授業料	381,000,000	388,462,500	△7,462,500
入学金	32,000,000	31,750,000	250,000
実験実習料	85,000,000	86,000,000	△1,000,000
施設設備資金	170,000,000	172,000,000	△2,000,000
手数料	(10,300,000)	(12,501,100)	(△2,201,100)
入学検定料	9,000,000	10,020,000	△1,020,000
試験料	1,200,000	2,280,000	△1,080,000
証明手数料	100,000	201,100	△101,100
寄付金	(5,000,000)	(23,500,000)	(△18,500,000)
一般寄付金	5,000,000	23,500,000	△18,500,000
補助金	(58,406,000)	(80,717,000)	(△22,311,000)
国庫補助金	58,406,000	80,717,000	△22,311,000
資産運用収入	(200,000)	(239,291)	(△39,291)
受取利息・配当金	200,000	239,291	△39,291
雑収入	(10,020,000)	(11,833,381)	(△1,813,381)
退職社団交付金収入	5,520,000	7,717,800	△2,197,800
その他の雑収入	4,500,000	4,115,581	384,419
帰 属 収 入 合 計	751,926,000	807,003,272	△55,077,272
基本金組入額合計	(△83,200,000)	(△77,368,886)	(△5,831,114)
消費収入の部 合計	668,726,000	729,634,386	△60,908,386
消費支出の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費	(542,171,000)	(534,931,598)	(7,239,402)
教員人件費	429,439,000	422,127,007	7,311,993
職員人件費	98,142,000	95,754,151	2,387,849
役員報酬	9,070,000	8,534,580	535,420
退職金	5,520,000	8,515,860	△2,995,860
教育研究経費	(208,179,000)	(199,114,513)	(9,064,487)
消耗品費	15,250,000	14,827,484	422,516
光熱水費	15,600,000	16,340,883	△740,883
旅費交通費	7,400,000	6,572,666	827,334
奨学費	4,050,000	4,050,000	0
通信運搬費	1,150,000	1,158,171	△8,171
保健衛生費	7,000,000	6,890,676	109,324
印刷製本費	3,000,000	2,395,774	604,226
新聞雑誌費	4,500,000	2,757,892	1,742,108
修繕費	1,000,000	4,657,364	△3,657,364

損害保険料	1,500,000	1,205,462	294,538
賃借料	4,010,000	3,428,603	581,397
諸会費	3,500,000	3,375,276	124,724
会議費	200,000	0	200,000
実験実習費	14,400,000	10,321,000	4,079,000
報酬・委託・手数料	30,000,000	29,933,393	66,607
学生諸費	16,619,000	15,325,919	1,293,081
行事費	2,500,000	2,097,424	402,576
減価償却額	72,500,000	69,994,616	2,505,384
雑 費	4,000,000	3,781,910	218,090
管理経費	(74,106,000)	(75,507,908)	(△1,401,908)
消耗品費	2,090,000	2,507,214	△417,214
光熱水費	3,500,000	2,574,953	925,047
旅費交通費	4,000,000	5,575,587	△1,575,587
車輛燃料費	150,000	98,864	51,136
福利費	220,000	105,316	114,684
通信運搬費	2,850,000	2,703,239	146,761
保健衛生費	1,825,000	1,589,832	235,168
印刷製本費	2,117,000	1,639,764	477,236
新聞雑誌費	160,000	37,497	122,503
修繕費	2,000,000	2,560,711	△560,711
損害保険料	209,000	85,678	123,322
賃借料	17,729,000	17,603,978	125,022
公租公課	10,000	3,400	6,600
広報費	14,000,000	13,660,318	339,682
諸会費	956,000	1,082,000	△126,000
慶弔慰労費	170,000	0	170,000
会議費	680,000	460,885	219,115
渉外費	550,000	460,120	89,880
報酬・委託・手数料	12,870,000	14,428,093	△1,558,093
減価償却額	6,900,000	6,696,952	203,048
雑 費	1,120,000	1,633,507	△513,507
資産処分差額	(0)	(100,380)	(△100,380)
図書除却差額	0	100,380	△100,380
徴収不能引当金繰入額	(0)	(755,000)	(△755,000)
徴収不能額	0	755,000	△755,000
予 備 費	5,000,000		5,000,000
消費支出の部 合計	829,456,000	810,409,399	19,046,601
当年度消費支出超過額	160,730,000	80,775,013	
前年度繰越消費収入超過額	0	474,239,494	
翌年度繰越消費収入超過額	0	393,464,481	
翌年度繰越消費支出超過額	160,730,000	0	

貸借対照表

平成27年03月31日現在

一般会計

(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	《 1,225,049,073》	《 1,223,669,543》	《 1,379,530》
有形固定資産	(1,224,579,073)	(1,223,199,543)	(1,379,530)
建 物	988,482,739	999,551,817	△11,069,078
構 築 物	36,908,368	41,435,605	△4,527,237
教育研究用機器備品	104,624,197	92,522,336	12,101,861
その他の機器備品	7,350,915	8,838,243	△1,487,328
図 書	87,212,854	80,851,542	6,361,312
その他の固定資産	(470,000)	(470,000)	(0)
差入保証金	470,000	470,000	0
流動資産	《 1,156,644,827》	《 1,124,856,283》	《 31,788,544》
現金	8,055,670	367,174	7,688,496
普通預金	1,127,358,087	1,110,254,166	17,103,921
未収入金	19,788,300	10,544,580	9,243,720
前払金	1,372,500	2,482,250	△1,109,750
立替金	0	150,000	△150,000
仮払金	70,270	1,058,113	△987,843
資 産 の 部 合 計	2,381,693,900	2,348,525,826	33,168,074
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動負債	《 206,469,127》	《 169,894,926》	《 36,574,201》
未払金	53,948,268	25,787,625	28,160,643
前受金	142,250,000	141,000,000	1,250,000
預り金	10,270,859	1,997,901	8,272,958
奨学金	0	1,109,400	△1,109,400
負 債 の 部 合 計	206,469,127	169,894,926	36,574,201
基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	1,721,760,292	1,644,391,406	77,368,886
第4号基本金	60,000,000	60,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	1,781,760,292	1,704,391,406	77,368,886
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費収入超過額	393,464,481	474,239,494	△80,775,013
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	393,464,481	474,239,494	△80,775,013
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部・基本金の部 および消費収支差額の部 合計	2,381,693,900	2,348,525,826	33,168,074

注記

重要な会計方針

① 引当金計上基準

・徴収不能引当金

金銭債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見積額を計算し、徴収不能引当金として計上することとしている。

・退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額を基として私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との組入れ調整額を加減した金額の 100% を計上することとしている。

なお、期末要支給額と交付金の累計額が同額であるため、退職給与引当金は計上していない。

② その他の重要な会計方針

・有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的有価証券の評価基準は償却原価法である。

・たな卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

減価償却額の累計額の合計額

497,388,221 円

翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

804,692 円

固定資産明細表

平成26年4月 1日から
平成27年3月31日まで

(単位:円)

科目		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却額の累計額	差引期末残高	摘要
有形固定資産	建物	1,233,123,285	33,050,818	0	1,266,174,103	277,691,364	988,482,739	旧教育センター改修工事
	構築物	67,570,715	0	0	67,570,715	30,662,347	36,908,368	
	教育研究用機器備品	249,071,392	38,387,028	0	287,458,420	182,834,223	104,624,197	助産機器、プロジェクター 電話設備改修
	その他の機器備品	13,279,262	271,940	0	13,551,202	6,200,287	7,350,915	パソコン
	図書	80,851,542	6,461,692	100,380	87,212,854	0	87,212,854	
	計	1,643,896,196	78,171,478	100,380	1,721,967,294	497,388,221	1,224,579,073	
固定資産の その他の資産	差入保証金	470,000	0	0	470,000	0	470,000	
	計	470,000	0	0	470,000	0	470,000	
合計		1,644,366,196	78,171,478	100,380	1,722,437,294	497,388,221	1,225,049,073	

基本金明細表

平成26年4月 1日から

平成27年3月31日まで

(単位:円)

事項	要組入高	組入高	未組入高	摘要
第1号基本金				
前期繰越高	1,644,393,506	1,644,391,406	2,100	
当期組入高				
1 建物				
当期購入に係る組入れ	33,050,818	33,050,818	0	
小計	33,050,818	33,050,818	0	
2 構築物				
当期購入に係る組入れ	0	0	0	
小計	0	0	0	
3 教育研究用機器備品				
当期購入に係る組入れ	38,387,028	38,387,028	0	
小計	38,387,028	38,387,028	0	
3 その他の機器備品				
当期購入に係る組入れ	271,940	271,940	0	
小計	271,940	271,940	0	
4 図書				
当期購入に係る組入れ	6,461,692	5,657,000	804,692	期末未払
過年度未組入れに係る当期組入高(未払金)		2,100	△ 2,100	
小計	6,461,692	5,659,100	802,592	
計	78,171,478	77,368,886	802,592	
当期末残高	1,722,564,984	1,721,760,292	804,692	
第4号基本金				
当期組入高	0	0	-	
当期末残高	60,000,000	60,000,000	-	
合計				
前期繰越高	-	1,704,391,406	2,100	
当期組入高	-	77,368,886	802,592	
当期取崩額	-	0	0	
当期末残高	-	1,781,760,292	804,692	

財 産 目 録
(平成27年3月31日現在)

I	資産総額	2, 381, 693, 900円
	内 基本財産	1, 225, 049, 073円
	運用財産	1, 156, 644, 827円
	収益事業用財産	0円
II	負債総額	206, 469, 127円
III	正味財産	2, 175, 224, 773円

区 分		金 額
資産額		
1	基本財産	1, 225, 049, 073円
	土地	0円
	建物 7, 355. 42㎡	988, 482, 739円
	図書 29, 266冊	87, 212, 854円
	教具・校具・備品 517点	111, 975, 112円
	その他	37, 378, 368円
2	運用財産	1, 156, 644, 827円
	現金預金	1, 135, 413, 757円
	その他	21, 231, 070円
3	収益事業用財産	0円
資 産 総 額		2, 381, 693, 900円
負債額		
1	固定負債	0円
	長期借入金	0円
	その他	0円
2	流動負債	206, 469, 127円
	短期借入金	0円
	その他	206, 469, 127円
負 債 総 額		206, 469, 127円
正味財産（資産総額－負債総額）		2, 175, 224, 773円

学校法人会計について

私立大学等経常費補助金の交付を受ける学校法人は、文部科学大臣の定める基準に従い、会計処理を行い、貸借対照表、収支計算書、その他の財務計算に関する書類を作成し、公認会計士又は監査法人による監査を受けて所轄庁に届け出なければならないとされています。

学校法人においては、次に掲げる計算書類を作成しなければなりません。

(学校法人会計基準第4条)

1 資金収支計算書

年度の諸活動に対応する全ての収入と支出の内容と当該年度に係わる支払資金の収入と支出のてん末を明らかにし、手許に支払資金が残っているかを知るために作成する書類です。附属する内訳表として、資金収支内訳表、人件費支出内訳表があります。

2 消費収支計算書

年度の消費収入と消費支出の内容を明らかにし、さらに両者の均衡の状態も表します。企業会計の損益計算書に類似した計算書です。附属する内訳表として、消費収支内訳表があります。

消費収入とは…帰属収入から基本金に組み入れる額を控除して計算されたもの。

帰属収入とは…学校法人の全ての収入のうち負債とならない収入であり、学校法人の純財産の増加をもたらす収入です。

基本金とは… 学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入のうちから組み入れたものです。

消費支出とは…会計年度中に学校法人が消費する資産の取得価額及び用役の対価の合計です。

3 貸借対照表

年度末における資産、負債、正味財産（基本金、消費収支差額など）の財政状態を表します。附属する内訳表として、固定資産明細表、借入金明細表、基本金明細表があります。

学校法人会計計算書類の主な科目

資金収支・消費収支計算書に共通の主な科目

学生生徒等納付金

授業料・施設費・入学金などの在学を条件として学生・生徒から納入されたもので、収入のうち最も大きな割合を占めます。

手数料

入学検定料や証明書発行手数料などです。

補助金

国や地方公共団体などから交付される補助金です。

資産運用収入

預貯金、有価証券の利息などの収入です。

人件費

専任教職員、非常勤講師、契約職員などに支給する本俸・期末手当・その他の手当、専任教職員の退職金財団掛金などです。

教育研究経費

教育・研究活動や学生・生徒の学習支援・課外活動支援に支出する経費です。

管理経費

総務・人事・経理業務や学生・生徒募集活動など、教育・研究活動以外の活動に支出する経費です。

資金収支計算書にのみ表れる主な科目

前受金収入

翌年度分の授業料など学生生徒等納付金で、当年度において、翌年度の諸活動に対応する資金を収入したものです。

資金調整勘定（資金収入調整勘定、資金支出調整勘定）

資金収支計算書には、期末未収入金、前期末前受金、期末未払金、前期末前払金が含まれていますが、これは、その年度における資金の動きを説明するには、その年度の実際の収支だけでは不十分なため、前年度以前に収入・支出されたもので当年度の活動に属するものと、翌年度以後に収入・支出となるが当年度の活動に属するものを含めて計算します。そこで、支払資金の実際の収支と当年度の諸活動に対応する収支とを一致させるために用いる科目を資金調整勘定といいます。

設備関係支出

教育研究用機器備品・その他の機器備品（本学においては価格が5万円以上）、図書などの支出をいいます。

「企業会計と学校会計の違い」

企業は、将来にわたって事業活動を継続していくという前提に基づいて成り立っています。継続企業を前提とすることにより、人為的に区切られた期間ごとに企業の財政や経営成績を報告する損益計算が必要となり、財政状態や経営成績を明らかにするために貸借対照表や損益計算書が作成されます。教育活動を提供する学校法人は、企業よりも永続性がより一層重視されており、資金収支計算で明らかにされる資金の収支及び期末以外に、学校法人の資産の消費額及び用役の対価と、その補てんに充当しうる収入とが持続的に均衡しているか、そして学校法人が保有する財産が有効に維持管理されているかを明らかにするために消費収支計算書と貸借対照表が作成されます。

平成 2 6 年度 事業報告書

平成 27 年 5 月 26 日
学校法人 青淵学園

目次

I. 法人・大学の概要	3
1. 本学の教育の理念及び使命・目的他	3
2. 本学の設置学部・設置学科	3
3. 本学の沿革	3
4. 法人・大学組織図	4
5. 学生数（各年度5月1日現在）	4
6. 役員等	5
7. 教職員数（5月1日現在）	6
II. 平成26年度事業の概要	7
1. 法人及び大学の管理・運営	7
2. 教育研究環境の整備	8
3. 教育研究活動	8
4. 地域連携	10
5. 入学試験関連	11
6. 卒業・修了の状況	12
7. 国家試験対策の指導強化・充実	12
8. 学生支援	13
9. 主要委員会の主な活動状況	16
III. 財務の概要	18
1. 資金収支計算書	21
2. 消費収支計算書	22
3. 貸借対照表	23

Ⅰ．法人・大学の概要

1. 本学の教育の理念及び使命・目的他

近年の医学・医療技術の高度化に伴い、数多くの検査データに基づき、先進的な医療機器を使った治療が多くなり、ややもすると治療を受ける側と治療を行う側との人間関係が希薄となり、治療を受ける人の人間性が損なわれる恐れも高くなっている。

このような中で、これからの医療におけるケアは、医療に関する専門的な知識や技術に基づくことはもとより、治療を受ける人や家族と可能な限り人間的な関係を築き、治療を受ける人を個別の人格を持った個人として捉えて、それぞれにふさわしい思いやりを持ったケアを行うことが必要になっている。

このような人間性尊重の理念を基盤とするケア、すなわちヒューマンケアを実践できる医療人を養成することが本学の目的であり、この目的に従って、本学の理念、使命・目的及び看護学科の教育目標を次のとおりとしている。

(1) 教育理念

本学は、生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解するとともに、学問的基礎の上に専門的な実践能力をもち、地域の保健・医療・福祉の担い手としてリーダーシップを発揮し、学問の発展にも貢献できる医療人を育成することを教育理念とする。

(2) 使命・目的

教育基本法及び学校教育法に基づき、医療に関する幅広い専門知識と技術を教授研究するとともに、人間性・倫理性・協調性を備えた人材を育成し、地域の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

(3) 看護学科の教育目標

- ① 生命を尊重し、人間の尊厳と基本的権利を理解できる豊かな人間性を涵養する。
- ② 看護学の基礎的な知識・技術・態度を修得し、ヒューマンケアの理念に基づいた実践ができる基礎的能力を育成する。
- ③ 保健・医療・福祉の重要な担い手としての役割を認識し、自己研鑽するとともに、リーダーシップを発揮できる基礎的能力を育成する。
- ④ 看護にかかわる諸問題を科学的に探求し、将来看護学の発展に貢献できる基礎的能力を育成する。

2. 本学の設置学部・設置学科

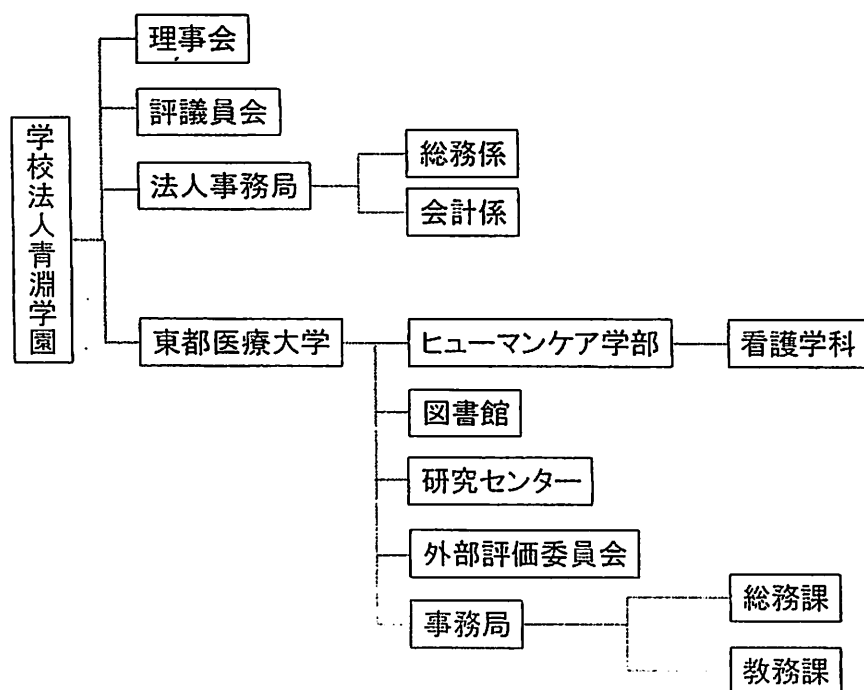
ヒューマンケア学部看護学科

3. 本学の沿革

平成 20 (2008) 年 4 月	学校法人青洲学園及び東都医療大学設置認可申請
平成 20 (2008) 年 10 月	東都医療大学設置認可
平成 21 (2009) 年 4 月	第 1 回入学式举行

平成 25 (2013) 年 3 月 第 1 回卒業式・学位記授与式挙行
 平成 27 (2015) 年 3 月 研究棟供用開始

4. 法人・大学組織図



5. 学生数（各年度 5 月 1 日現在）

	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
1 年次	106	114	112	104	116	114	100
2 年次	-	106	116	114	105	116	111
3 年次	-	-	101	111	108	105	112
4 年次	-	-	-	99	108	104	93
計	106	220	329	428	437	439	416
収容定員 充足率	1.06	1.10	1.10	1.07	1.09	1.10	1.04

6. 役員等

(1) 理事及び監事（平成 27 年 3 月 31 日現在）

理事	理事長	大坪	修
理事	学長	中條	俊夫
理事		八木	繁
理事		小出	輝
理事		大坪	茂
理事		渡邊	信
監事		増田	寛次郎
監事		寺野	彰

(2) 評議員（平成 27 年 3 月 31 日現在）

評議員	大坪	修
評議員	中條	俊夫
評議員	八木	繁
評議員	小出	輝
評議員	大坪	茂
評議員	渡邊	信
評議員	大坪	公子
評議員	白川	毅
評議員	石井	哲夫
評議員	五十嵐	雅子
評議員	出井	秀勇
評議員	今川	詢子
評議員	富野	康日己
評議員	長澤	俊彦
評議員	大嶋	利夫

(3) 顧問

遠藤 純一郎

7. 教職員数（5月1日現在）

区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
専任教員	教授	7	14	14
	准教授	6	8	9
	講師	9	8	10
	助教	2	6	5
	計	24	36	38
専任助手		5	9	13
大学職員		8	9	9

Ⅱ．平成 26 年度事業の概要

本学は、学校法人青淵学園は、設置する東都医療大学の教育の充実のために、平成 26 年度事業として、次の各事業を実施した。

1. 法人及び大学の管理・運営

(1) 理事会・評議員会

平成 26 年度の理事会は、5 月、10 月、平成 26 年 2 月及び 3 月の計 4 回開催した。

理事会の主な審議・報告事項は、5 月に事業報告・決算報告、10 月に学校教育法の一部改正に伴う組織・規程等の改正及び上期事業報告、2 月に補正予算・中期計画・各種規程との整備、3 月に事業計画・予算・規程の整備等が行われた。

評議員会についても同様に計 4 回開催した。

評議員会の主な審議・報告事項は、5 月に事業報告・決算報告、10 月に評議員の選任区分変更・上期事業報告、2 月に補正予算・中期計画、3 月に事業計画・予算・評議員の選任が行われた。

(2) 運営会議・運営協議会

運営会議は、理事長、学長たる理事、常勤の理事、法人事務局長で構成され、理事会規程に定める理事会の業務以外の業務について、法人の管理運営を適正かつ円滑に行うために理事長が必要と認めた事項について審議を行い、原則として月 1 回開催された。

運営協議会は、理事長、学長、学科長、法人・大学事務局長で構成され、法人と大学の相互の意思疎通並びに連携を図るため、月 3 回以上開催された。

(3) 管理運営体制

本学は 1 学部 1 学科の小規模な大学であるため、事務処理体制について事務分掌上は明確な経営と教学との分離は行うものの、総務・人事・会計に係る事務のように経営と教学の双方に密接に関連があるものについては、その業務を円滑に実施するため、その事務を一体的に処理している。

本年度は特に、職員の資質・能力向上のため、行政機関や外部団体による研修に積極的に参加・活用するなど、SD(Staff Development)にかかる組織的な取り組みを実施した。

(4) 留意事項等

文部科学省大学設置・学校法人審議会設置計画履行状況等調査委員会による設置計画履行状況調査の一環として、本学に対し実地調査が、平成 26 年 8 月 6 日及び 12 月 11 日に実施された。

これに関連し、平成 27 年 2 月に文部科学省より、「設置計画履行状況等調査の結果等」が公表され、本学に対して改善意見が付された。このため、平成 27 年 3 月に「改善状況等に対する改善状況等報告書」を提出した。

(5) 自己点検・評価

「平成 25 年版自己点検評価報告書」が教授会において了承され、ホームページにて公表した。これに関しては、自己点検・評価が適切に行われているかを点検・評価するとともに、今後本学が改善すべき点等を議論し、提言することを目的とした学外有識者等による「外部評価委員会」が計 2 回開催された。

2. 教育研究環境の整備

(1) 施設・設備

平成 26 年度は、深谷市より借り受けた「旧埼玉県総合教育センター」を整備し、平成 26 年 3 月より、研究棟として供用を開始した。

(2) 図書の整備

東都医療大学付属図書館の書数は、設立当初は 9,795 冊（平成 21 年 5 月 1 日）だったが、毎年専門分野別にも配慮しながら、平均約 2,500 冊を購入し、平成 26 年度（平成 26 年 5 月 1 日）では 22,031 冊の蔵書となっている（平成 27 年 3 月現在では 23,300 冊）。

3. 教育研究活動

(1) 教学運営体制の整備

平成 27 年度より、学校教育法等の一部の改正に伴い、学長が適切にリーダーシップを発揮し、全学的なマネジメントを行うため、法人及び大学の委員会等組織の再編を行い、平成 27 年 4 月 1 日施行とした。

このうち、教授会については、学長が、学生の入学、卒業及び課程の修了に関すること、学位の授与に関すること、このほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについて決定を行うに当たり意見を述べるものとされた。平成 27 年 4 月以降、各委員会の組織体制は次のとおり。

① 学園（理事長）の下に置かれる委員会等

- ・理事会 ・評議員会
- ・運営会議 ・運営協議会
- ・人事委員会（教授会の下より再編。下部組織として教員候補者選考委員会を設置）
- ・企画委員会（教授会の下より再編）
- ・将来構想検討委員会（教授会の下より再編。下部組織として将来構想検討看護部会を設置）

② 学長の下に置かれる委員会等

- ・外部評価委員会
- ・国家試験対策委員会（教授会の下に設置される教務委員会の国家試験対策部会より、国家試験対策委員会へ改編）
- ・倫理審査委員会（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年

文部科学省・厚生労働省告示第 3 号) に基づき、研究倫理規程を新たに制定し、同規程に定める倫理審査委員会とし、教授会の下より改編)

- ・図書館運営委員会 (教授会の下より再編)
- ・自己点検・評価委員会
- ・環境・安全衛生委員会 (教授会の下より再編)
- ・地域連携委員会 (教授会の下より再編)
- ・学報編集委員会
- ・研究センター運営委員会
- ・広報委員会 (理事長の下より再編)
- ・物品調達委員会 (理事長の下より再編)
- ・防火対策委員会 (理事長の下より再編)
- ・教員組織検討委員会

③ 教授会の下に置かれる委員会等

- ・入学試験委員会 (下部組織の入学者選抜委員会は廃止)
- ・教務委員会 (下部組織として実習部会、教養教育部会等を設置)
- ・学生委員会
- ・研究・紀要委員会
- ・FD委員会

なお外部評価委員会は、大学に置かれているが、上記の委員会とは異なり、本学の関係者以外で組織され、独立の委員会としている。

(2) 学部教育

本学の教育目的・教育目標等を踏まえて、教育課程 (カリキュラム) の編成を行い、授業計画に則り実施した。本学では学年制及び単位制を採用し、授業計画 (シラバス) に則り、各学年に提供される授業科目 (必修科目及び選択科目) を履修し、必要な単位を取得することにより、上位学年に進級することができるとともに、4 年間で 124 単位以上 (原則) を修得することにより、卒業することができる。

授業科目は、基礎分野・専門基礎分野・専門分野の 3 区分とし、学年進行に従い、基礎から専門へと知識・技術の積み上げを目指している。

カリキュラムについては、平成 29 年度の実施に向け、教務委員会において、その検討を行った。

3 ポリシー (ディプロマ、カリキュラム、アドミッション) については、学内での議を経て、改訂した。

教授方法の工夫・改善については、FD (Faculty Development) 講演会の開催や学生への授業評価アンケートなどを通じて、その向上に努めた。

(3) 競争的研究資金の獲得

主な学外の競争的研究資金は、文部科学省「平成 26 年度科学研究費助成事業」については、本学の採択件数は、新規・継続分を合わせて 6 件 (補助金交付総額: 約 1,500 万円)、民間の競争的研究資金については、日本生命財団の新規 1 件であった。

今後も研究活動の推進・活性化を図っていく。

4. 地域連携

地域連携委員会として、「公開講座」「子ども大学ふかや」「ふかや市民大学」「深谷市福祉健康まつり」「オレンジカフェ」「上柴地区祭り」「上柴運動会」「上柴町西小学校2年生町探検」「雪かきボランティア」などの企画に教員ボランティア、学生ボランティアが参加している。

地域連携委員会での主な企画は次のとおりである。

(1) 公開講座

- ・2014年8月30日（土）
『医療とスピリチュアルケア』講師：島蘭進
- ・2014年10月25日（土）
『上手に介護するために』講師：柿沼直美
- ・2014年11月2日（日）
『若者の薬物汚染を防ぐ』講師：北條正順（榎本クリニック精神保健福祉部次長）
- ・2014年12月13日（土）
『生活習慣病を予防しよう』講師：市原千里
- ・2015年1月24日（土）
『子どもの虐待を防止するために』講師：吉田幸子
- ・2015年2月7日（土）
『認知症と上手に付き合うために』講師：佐藤光栄
- ・2015年3月7日（土）
『著作権のススメ』講師：中根孝司

(2) 『子ども大学ふかや』

- ・2014年9月6日（土）
『はてな学・生き方学 からだの不思議』講師：勝部憲一

(3) 『ふるさと上柴まつり』

- ・2014年8月2日（土）救護係：地域連携サークルの学生4名と教員3名

(4) 『深谷市福祉健康まつり』

- ・2014年10月25日（土）ボランティアスタッフ：学生16名

(5) 『上柴地区運動会』

- ・2014年10月19日（日）ボランティアスタッフ：学生3名

(6) 『オレンジカフェ東都（認知症カフェ）』

深谷市、市内で「介護者のつどい」を実施している介護保険サポーターズ深谷、地域包括支援センターと本学の協働事業として、認知症の方とその家族を支援するため、気軽に集い、ゆっくり話のできる場として開催した。

- ・2014年11月27日（木） ボランティアスタッフ：学生8名 参加者：24組 27名
- ・2015年1月22日（木） ボランティアスタッフ：学生5名 参加者：13組 15名

- ・2015年2月19日（木） ボランティアスタッフ：学生8名 参加者：14組16名
- ・2015年3月19日（木） ボランティアスタッフ：学生5名 参加者：20組22名

また、本学所在地である深谷市や埼玉県、及び看護の職能団体である埼玉県看護協会からの要請により、各種委員会委員を引き受けている。その内容は以下のとおりである。

深谷市	子ども大学ふかや実行委員
深谷市	ふかや市民大学実行委員
深谷市	福祉健康まつり実行委員
深谷市	情報公開審査会委員
深谷市	個人情報保護審査会
深谷市	国民健康保健協議会委員
さいたま市	さいたま市立高等看護学院評議員
埼玉県看護協会	埼玉県看護協会第一支部教育委員
埼玉県看護協会	社団法人埼玉県看護協会「看護職定着促進委員会」委員
高齢者虐待防止学会	サポートライン相談員

5. 入学試験関連

(1) オープンキャンパス

土曜日、夏休みを中心に、計 6 回開催し、保護者も含め合計約 300 名が来校した。

(2) 平成 27 年度入学試験結果

前年度に比べ志願者数が 14 名減少するなど、平成 25 年度入学試験以来、志願者の減少傾向が見られている。このため、早急な対策が必要となっている。

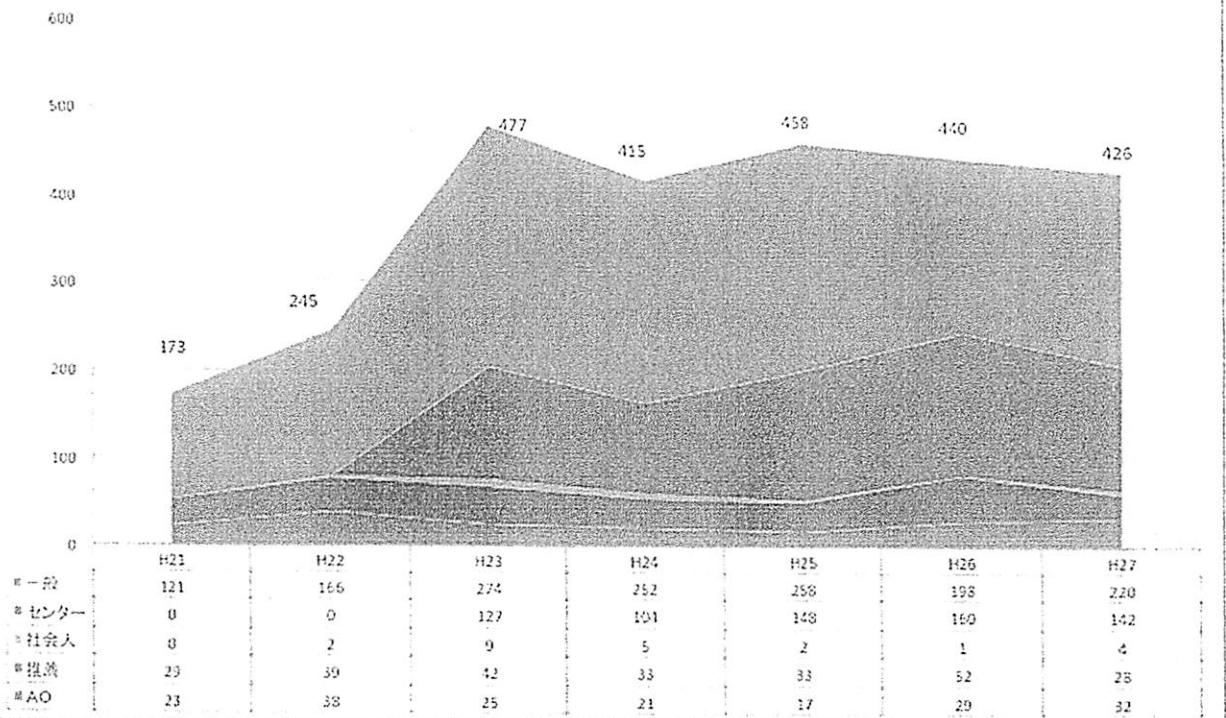
また、入学者数が開学以来、初めて入学定員を割った。これは、入学辞退者数が予想よりも多かったためであるが、入学試験実施体制を改善することによって対応したい。

入学試験実施状況の推移

	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
入学定員	100	100	100	100	100
志願者数	477	415	458	440	426
受験者数	438	385	422	415	401
合格者数	167	202	221	203	191
入学者数	112	105	115	111	95

*各年度 3 月 31 日現在

東都医療大学
入学試験に係る志願者数の推移



6. 卒業・修了の状況

平成 26 年度の卒業生は、104 名であった。

7. 国家試験対策の指導強化・充実

国家試験対策については、今年度も教務委員会の下に国家試験対策部会を設けて学生の指

導にあたった。

平成 26 年度の各国家試験については、看護師が 93.9%、保健師が 100%・助産師が 100%と、いずれも全国の合格率と同率かあるいは上回った。引き続き、平成 27 年度の国家試験に向けて学生・教員の一層の奮起が必要である。

			平成26年度 (2014年度)				平成25年度 (2013年度)				平成24年度 (2012年度)			
			出願者	受験者	合格者	合格率	出願者	受験者	合格者	合格率	出願者	受験者	合格者	合格率
保健師	合計	本学	97	86	86	100.0%	96	96	67	69.8%	89	89	84	94.4%
		全国	16,892	16,622	16,517	99.4%	17,592	17,308	14,970	86.5%	16,712	16,420	15,764	96.0%
	新卒	本学	88	77	77	100.0%	93	93	67	72.0%	89	89	84	94.4%
		全国	15,614	15,440	15,381	99.6%	16,761	16,555	14,698	88.8%	15,342	15,136	14,751	97.5%
	既卒	本学	9	9	9	100.0%	3	3	0	0.0%	0	0	0	-
		全国	1,278	1,182	1,136	96.1%	831	753	272	36.1%	1,370	1,284	1,013	78.9%
助産師	合計	本学	10	10	10	100.0%	10	10	9	90.0%	7	7	7	100.0%
		全国	2,052	2,037	2,034	99.9%	2,095	2,079	2,015	96.9%	2,133	2,113	2,072	98.1%
	新卒	本学	9	9	9	100.0%	10	10	9	90.0%	7	7	7	100.0%
		全国	1,980	1,976	1,975	99.9%	2,056	2,042	1,993	97.6%	2,028	2,010	1,987	98.9%
	既卒	本学	1	1	1	100.0%	0	0	0	-	0	0	0	-
		全国	62	61	59	96.7%	39	37	22	59.5%	105	103	85	82.5%
看護師	合計	本学	115	114	107	93.9%	112	112	100	89.3%	95	95	90	94.7%
		全国	61,480	60,947	54,871	90.0%	60,312	59,725	53,495	89.6%	57,185	56,530	50,224	88.8%
	新卒	本学	104	103	99	96.1%	107	107	94	87.9%	95	95	90	94.7%
		全国	53,890	53,492	50,846	95.1%	53,890	53,492	50,846	95.1%	51,926	51,458	48,413	94.1%
	既卒	本学	11	11	8	72.7%	5	5	5	100.0%	0	0	0	-
		全国	7,590	7,455	4,025	54.0%	6,422	6,233	2,649	42.5%	5,259	5,072	1,811	35.7%

8. 学生支援

(1) 奨学金の充実

奨学金等の学生に対する経済的な支援については、事務職員 1 名を配置している。

本学では、経済的な理由により修学が困難な学生に対する奨学金として、①本学の学生のみを対象とした独自の奨学金（学校法人青淵学園奨学金）と、②対象学生に限定のない奨学金（日本学生支援機構奨学金、埼玉県看護師等育英奨学金など）のほか、周辺地域の医療機関や地方公共団体及び民間育英奨学団体の奨学金などがある。

各種奨学金の貸与状況

	学校法人青淵学園奨学金＊	日本学生支援機構		埼玉県看護師等育英奨学金
		1 種	2 種	
平成 21 年度	8	9	34	1
平成 22 年度	18	15	70	1
平成 23 年度	19	29	105	1
平成 24 年度	26	40	150	1
平成 25 年度	25	43	159	1
平成 26 年度	20	53	152	1

＊平成 25 年度以前は「大坪会奨学金」

(2) チューター制度

学生の学習及び生活等全般について指導助言・支援するため、本学では、平成 21

年度から、チューター制度を設けている。チューターは、本学の専任教員が学生の指導助言等を行う仕組みとなっている。各専任教員は1年次から4年次までの学生を担当し、教員1人当たり、約16名程度を担当している。そのチューター教員は1年生として入学してきた学生を学年進行により4年間、常に指導助言等を行う存在であるため、学生及びその家族を含めて、緊密な関係を構築している。

チューター教員の指導助言等の内容については、具体的には、①学習相談に関するもののほか、②学生生活に関するもの、③進路・就職に関するもの、④心身の健康に関するもの、⑤看護師等国家試験に関するもの等学生生活の全般にわたっている。

チューター教員は、学生にとって最も身近で、かつ最初の相談窓口として機能しており、平日の勤務時間内はもとより、平日の勤務時間外又は土日にも対応しなければならないことがある。なお、このような状況から、平成25年度、チューター教員に対する精神的、経済的な負担が過重になりがちであるため、その職務上の負担に対する手当（チューター手当）を創設した。

学生から持ち込まれる事案について、チューター教員自身で解決するには専門的な知識や能力として限界がある場合には、学内カウンセラーへの訪問を助言したり、学内において指導・相談しづらい事例等においては学外の関係機関、NPO法人カウンセラー『心のケア・とまり木』を無料で受診できる仕組みを用意している。

(3) オフィスアワー制度

オフィスアワー制度については、授業計画（シラバス）だけでなく、掲示板に掲示する方法で、学生に周知徹底を全学的に図っている。

なお、専任教員は、臨地実習指導で学外に出ていることが多いので、掲示した曜日・時間以外の日時にも随時学生に対応している。このような弾力的かつ柔軟な対応により、学生への便益を図っている。

(4) キャリアガイダンス

実際の就職・進学については、本学キャリアセンターで、学生の就職や進学など将来の進路選択、社会的・職業的自立を支援・指導している。キャリアセンターは本館2階に設置され、常に開放し、求人情報の閲覧やパソコンでの検索など学生が自由に活用できるよう資料や機材を整備し、学生のキャリア育成に供している。

また、キャリアセンターは、本学学生委員会の委員が担当者となり、学生担当チューターや他の教職員の協力を得て、次表のキャリアガイダンス等を企画運営している。

26年度 キャリアガイダンス等の概要

対象学年	時期	主な活動内容
1 年生 2 年生	4 月	キャリアガイダンス ① キャリア支援について ② キャリアセンターの活動について
3 年生	4 月 7 月 9 月	キャリアガイダンス（進路希望調査） ① 外部講師による「就職活動についての講話」 ② キャリアセンターの活動及びインターンシップについて キャリアガイダンス インターンシップについて 病院施設訪問に向けたマナー講座（外部講師・センター） 進路相談会 ① 病院説明会（参加病院：19） ブースごとの就職相談 ② 病院と参加学生へのアンケート
4 年生	4 月 6 月 年間	キャリアガイダンス（進路希望調査） ① 外部講師による「履歴書の書き方等就職活動についての講話」 ② キャリアセンターの活動及びインターンシップについて 模擬面接（希望者） 就職・キャリア支援に関する相談及び進路調査（随時） 内定調査および未決定者への個別指導 病院説明会の情報揭示案内

(5) 特待生制度

平成 21 年 9 月、学修を奨励する観点から、東都医療大学特待生規程が制定され、本学に 1 年以上在学した学生のうち、特に学業成績が優秀で品行方正な者を特待生（各学年入学定員の 3 % 以内の数）として表彰する制度（授業料半額免除の特典有り）ができ、平成 22 年度から運用している。平成 25 年度においても、2～4 年次各 3 名の特待生を表彰した。

(6) オリエンテーション

新入生の大学生活への円滑な移行を支援するため、教務委員会・学生委員会・図書館運営委員会と教務課が中心となって、入学式後 2～3 日間、新入生オリエンテーションを実施している。新入生オリエンテーションでは、学生生活全般、図書館・コンピュータ演習室などの学習支援施設、大学の授業の仕組み・履修登録などの学修に関わる基本事項、また、健康管理（健康診断・予防接種を含む。）、生活安全などに関わる諸事項など、学修及び学生生活に必要な情報を提供している。

また、このオリエンテーション時にチューターとなる教員を発表すると同時に、チューター教員とその指導等を受ける学生グループとのミーティングを実施し、チュー

ター教員が学修上、生活上の相談窓口となることを学生に説明している。

在学生に対しては、教務委員会・学生委員会・事務局職員が協働して、各学年開始時及び後期冒頭にオリエンテーションを実施し、履修登録や学生生活などについて説明している。また、在学生に対しても、そのオリエンテーション時にチューター教員とのミーティングを実施している。

(7) 補習（補充）授業

定期試験等で学力不足と評価された者及び希望者について、正規の授業時間以外に補習授業を行った。

(8) 合宿研修（新入生対象）

教務委員会と事務局職員が協働して、新入生を対象に、合宿による研修を行った。

9. 主要委員会の主な活動状況

① 人事委員会（下部組織として教員選考委員会を設置）

本年度は主に教員の採用に関し集中的に開催した。

② 将来構想検討委員会（下部組織として将来構想検討看護部会を設置）

将来構想検討看護部会を計2回開催し、大学院の設置構想、今後のカリキュラム改訂、卒業生のリカレント教育について検討を行った。

③ 入学試験委員会（下部組織として入学者選抜委員会を設置）

本学の入学試験を公正・円滑に行うとともに、質の高い学生を確保することを目的に運営を行った。入学試験の基本方針の立案、入学試験の実施計画、入学試験問題の作成・採点、その他入学試験・学生募集に関する事項を審議した。本年度は特にディプロマポリシーの改訂を検討した。

④ 学報編集委員会

本年度は、学位記授与式及び入学式を掲載した第11号、理事長・学長の原稿及び青淵祭について掲載した第12号の計2回発行した。

⑤ 教務委員会（下部組織として実習部会 国家試験対策部会等を設置）

教務の企画、運営に関し協議し、教育にかかわる活動を円滑に運営することを目的に、教育課程、学籍、成績評価、学生の教育指導、学生の臨地実習・臨床実習、その他教務に関する事項について計23回会議を開催し、審議した。

⑥ 学生委員会

学生の生活指導、健康・福利厚生に関する事項を協議し、学生生活が円滑に行われるよう支援することを目的に計11回開催した。本年度は学園祭や就職の支援に注力した。

⑦ 研究・紀要委員会

特定研究費の公募・審査と紀要の編集を行った。本年度は新たな試みとして学内教員を対象に学術研究会を実施した。

⑧ 研究倫理委員会

研究倫理審査体制について、事前審査として審査部会を設置し、審査部会及び本委

員会により二重の審査体制を確立し、慎重かつ厳格な審査を行った。

⑨ 図書館運営委員会

本年度から引き続き「図書館便り」を原則毎月 1 回発行するとともに「学生選書ツアー」も企画するなど図書館活動全般に関し、活性化させた。

⑩ FD・自己点検評価委員会

本学に義務づけられている平成 27 年度の認証評価の受審に向けて、「平成 25 年度東都医療大学自己点検評価報告書」の作成・公表を行った。また、FD 講演会を 2 回開催した。

⑪ 環境・安全衛生委員会

学生及び教職員に対する健康管理、環境安全や感染症対策についての業務を行った。

⑫ 地域連携委員会

深谷市福祉健康まつりの出展企画、子ども大学深谷への参加、深谷市民大学への講師派遣、学生ボランティアサークルの立ち上げなどを実施するとともに大学企画の公開講座を計 7 回実施した。

Ⅲ．財務の概要

1. 各計算書類の平成 25 年度と平成 26 年度の比較について

各計算書類における平成 25 年度と平成 26 年度の比較では、次の各科目について増減があり、その内容は次のとおりである。

(1) 資金収支計算書

収入の部

- ① 学生生徒等納付金の対前年度 3,600 千円減及び手数料収入の対前年度 1,086 千円減は、学生の退学及び休学の増による。
- ② 寄付金の対前年度 17,500 千円増は、法人への奨学金寄付金 18,500 千円を含むことによる。
- ③ 補助金収入の対前年度 16,257 千円増は、私立大学等経常費補助金が専任教員増等による対前年度 16,449 千円増による。
- ④ 雑収入の対前年度 8,074 千円増は、私立大学退職金財団の退職資金増及び科研費の事務費増による。
- ⑤ その他の収入の対前年度 301,659 千円減は、前年度に体育館整備のため第 2 号基本金の取り崩残の組戻し及び有価証券の償還により前年度が多いことによる。

支出の部

- ① 人件費支出の対前年度 107,139 千円増は、平成 24 年度の専任教員・助手 29 名に対して平成 25 年度の期中より専任教員・助手 45 名へ教員増、平成 26 年度の専任教員・助手 51 名の配置及び給与の改善を図った結果による。
- ② 教育研究費支出の対前年度 23,361 千円増は、人件費支出増と同様に専任教員増及び研究棟の整備による。
- ③ 管理経費支出の対前年度 14,702 千円増は、平成 26 年 7 月より深谷市の旧埼玉県立総合教育センター深谷支所の宿泊棟などを賃借したことによる。
- ④ 施設関係支出の対前年度 33,050 千円増及び設備関係支出 1,642 千円増は、前項の宿泊棟を研究棟へ改修工事を行ったことによる。
- ⑤ 以上の結果、次年度繰越支払資金は、24,792 千円増と前年度の 429,172 千円を大幅に下回る。

(2) 消費収支計算書（資金収支計算書と共通の科目を除く。）

消費収入の部

- ① 帰属収入合計の対前年度 37,182 千円増は、学生生徒納付金、手数料及び寄付金が対前年度を下回ったものの奨学金寄付金、私立大学等経常費補助金及び雑収入の増により前年度を上回った。

- ② 基本金組入れ額合計の対前年度 32,789 千円減は、研究棟の改修工事による固定資産の建物を第 1 号基本金へ組み替えたことによる。

消費支出の部

- ① 消費支出の部合計の対前年度 149,612 千円増は、人件費、教育研究経費及び管理経費の何れも資金収支計算書の説明のとおり前年度を上回り、当年度消費収入超過額△80,775 千円と前年度 64,444 千円を大幅に下回る結果となった。

(3) 貸借対照表

資産の部

資産の部合計の対前年度 33,168 千円増は、研究棟の改修工事、電話設備交換及び LAN 工事増設による固定資産の増があったものの、現金預金が対前年度 24,792 千円増にとどまり微増となった。

負債の部

負債の部合計の対前年度 36,574 千円増は、その他の流動資産のうち入学辞退者、退職金及び未払い金の増による。

基本金の部

基本金の部合計の対前年度 77,368 千円増は、減価償却費及び研究棟の改修工事による固定資産増による。

2. 平成 26 年度の財務状況と「今日の私学財政」との比較について

平成 26 年度の本学の財務状況と日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の平成 26 年度版（平成 25 年度の計算書類の分析）より、平成 25 年度財務比率表（系統別）の大学部門（単一学部）の「保健系学部」の比率を（ ）内に示して比較を行いその結果は、次のとおりである。

なお、[]内は、「今日の私学財政」の財務比率一覧に示されている評価を示した。

(1) 消費収支計算書関係比率

- | | | |
|------------|----------------|----------|
| ① 人件費比率 | 66.3% (52.0%) | [低い値が良い] |
| ② 人件費依存率 | 78.9% (63.1%) | [低い値が良い] |
| ③ 教育研究経費比率 | 24.7% (28.1%) | [高い値が良い] |
| ④ 管理経費比率 | 9.4% (7.3%) | [低い値が良い] |
| ⑤ 基本金組入率 | 9.6% (6.0%) | [高い値が良い] |

(注) 以上の比較では、本学の教員増の影響により人件費比率及び教育研究経費比率が悪く、教育研究経費比率及び管理経費比率は保健系学部の平均に概ね近づく結果となり、基本金組入率は、研究棟の改修が行われたことにより良い評価となった。

(2) 貸借対照表関係比率

- | | | |
|------------|-----------------|----------|
| ① 自己資金構成比率 | 91.3% (81.4%) | [高い値が良い] |
| ② 固定資産構成比率 | 68.8% (73.9%) | [低い値が良い] |
| ③ 流動比率 | 560.2% (227.5%) | [高い値が良い] |

(注) 以上の比較では、いずれも保健系学部を平均を上回り、財務状況は良い状況にある。

1. 資金収支計算書

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	平成 26 年度	平成 25 年度	差 異
学生生徒等納付金収入	678,212,500	681,812,500	△3,600,000
手数料収入	12,501,100	13,587,600	△1,086,500
寄附金収入	23,500,000	6,000,000	17,500,000
補助金収入	80,717,000	64,459,472	16,257,528
資産売却収入	0	0	0
資産運用収入	239,291	201,650	37,641
事業収入	0	0	0
雑収入	11,833,381	3,759,291	8,074,090
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	142,250,000	141,000,000	1,250,000
その他の収入	100,471,020	402,130,959	△301,659,939
資金収入調整勘定	△159,288,300	△154,646,390	△4,641,910
前年度繰越支払資金	1,110,621,340	681,448,592	429,172,748
収入の部合計	2,001,057,332	1,839,753,674	161,303,658
支 出 の 部			
人件費支出	534,931,598	427,792,525	107,139,073
教育研究経費支出	129,119,897	105,758,210	23,361,687
管理経費支出	68,810,956	54,108,176	14,702,780
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	33,050,818	0	33,050,818
設備関係支出	45,120,660	43,478,151	1,642,509
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	108,557,914	123,782,897	△15,224,983
資金支出調整勘定	△53,948,268	△25,787,625	△28,160,643
次年度繰越支払資金	1,135,413,757	1,110,621,340	24,792,417
支出の部合計	2,001,057,332	1,839,753,674	161,303,658

2. 消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	平成 26 年度	平成 25 年度	差 異
学生生徒等納付金	678,212,500	681,812,500	△3,600,000
手数料	12,501,100	13,587,600	△1,086,500
寄付金	23,500,000	6,000,000	17,500,000
補助金	80,717,000	64,459,472	16,257,528
資産運用収入	239,291	201,650	37,641
資産売却差額	0	0	0
事業収入	0	0	0
雑収入	11,833,381	3,759,291	8,074,090
帰属収入合計	807,003,272	769,820,513	37,182,759
基本金組入額合計	△77,368,886	△44,578,898	△32,789,988
消費収入の部合計	729,634,386	725,241,615	4,392,771
消費支出の部			
人件費	534,931,598	427,792,525	107,139,073
教育研究経費	199,114,513	172,703,912	26,410,601
管理経費	75,507,908	60,216,931	15,290,977
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	100,380	83,480	16,900
徴収不能引当金繰入額	755,000	0	755,000
消費支出の部合計	810,409,399	660,796,848	149,612,551
当年度消費収入超過額	△80,775,013	64,444,767	△145,219,780
前年度繰越消費収入超過額	474,239,494	409,794,727	64,444,767
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越消費収入超過額	393,464,481	474,239,494	△80,775,013

3. 貸借対照表

(単位：円)

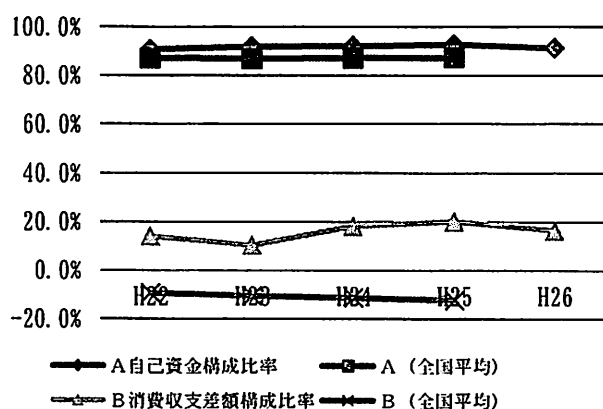
資産の部			
科 目	平成 26 年度	平成 25 年度	増 減
固定資産	1, 225, 049, 073	1, 223, 669, 543	1, 379, 530
有形固定資産	1, 224, 579, 073	1, 223, 199, 543	1, 379, 530
土地	0	0	0
建物	988, 482, 739	999, 551, 817	△11, 069, 078
その他の固定資産	236, 096, 334	223, 647, 726	12, 448, 608
その他の固定資産	470, 000	470, 000	0
流動資産	1, 156, 644, 827	1, 124, 856, 283	32, 650, 512
現金預金	1, 135, 413, 757	1, 110, 621, 340	24, 792, 417
その他の流動資産	21, 231, 070	14, 234, 943	6, 996, 127
資産の部合計	2, 381, 693, 900	2, 348, 525, 826	33, 168, 074
負債の部			
科 目	平成 26 年度	平成 25 年度	増 減
固定負債	0	0	0
長期借入金	0	0	0
その他の固定負債	0	0	0
流動負債	206, 469, 127	169, 894, 926	36, 574, 201
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	206, 469, 127	169, 894, 926	36, 574, 201
負債の部合計	206, 469, 127	169, 894, 926	36, 574, 201
基本金の部			
第 1 号基本金	1, 721, 760, 292	1, 644, 391, 406	77, 368, 886
第 2 号基本金	0	0	0
第 3 号基本金	0	0	0
第 4 号基本金	60, 000, 000	60, 000, 000	0
基本金の部合計	1, 781, 760, 292	1, 704, 391, 406	77, 368, 886
消費収支差額の部合計	393, 464, 481	474, 239, 494	△80, 775, 013
翌年度繰越消費収入超過額	393, 464, 481	474, 239, 494	△80, 775, 013
負債の部、基本金の部及び消費収支差	2, 381, 693, 900	2, 348, 525, 826	33, 168, 074

☆ 貸借対照表関係

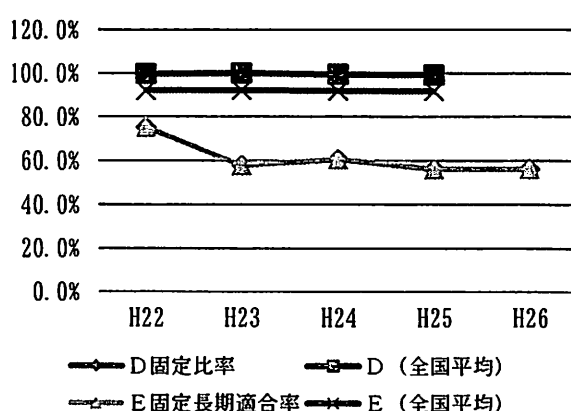
単位：千円

科 目	H22	H23	H24	H25	H26
固定資産	1,380,046	1,122,211	1,253,329	1,223,670	1,225,049
流動資産	642,362	986,493	993,157	1,124,856	1,156,645
(現金・預金)	541,274	682,730	681,449	1,110,621	1,135,414
資産の部合計	2,022,408	2,108,704	2,246,486	2,348,526	2,381,694
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	187,786	172,242	176,879	169,895	206,469
(前受金)	158,750	155,250	144,857	141,000	142,250
負債の部合計	187,786	172,242	176,879	169,895	206,469
基本金の部合計	1,549,959	1,716,721	1,659,813	1,704,391	1,781,760
消費収支差額の部合計	284,663	219,741	409,795	474,239	393,464
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	2,022,408	2,108,704	2,246,486	2,348,526	2,381,694
基本金要組入額 (基本金明細表)	1,370,598	1,419,682	1,660,915	1,704,394	1,782,565

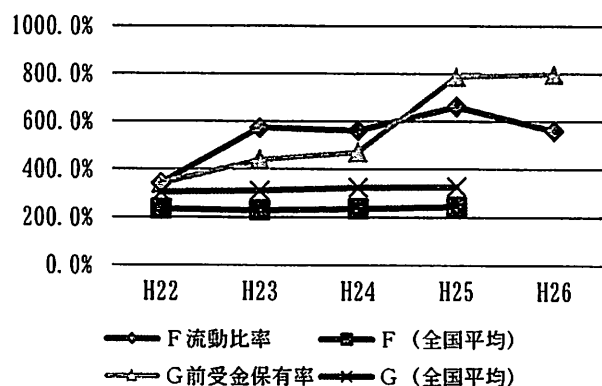
自己資金の充実度



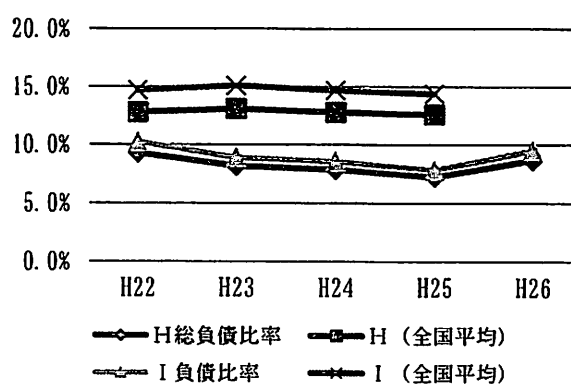
固定資産の長期資金賄い



負債に備える資産蓄積度



負債の割合

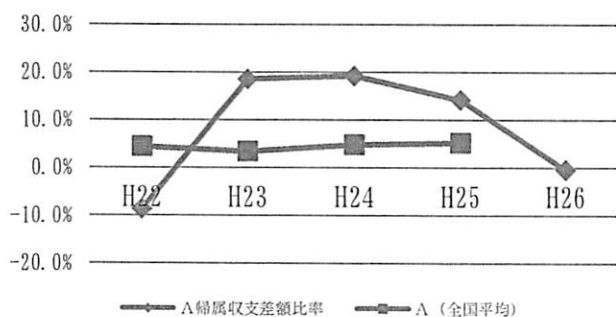


☆ 消費収支計算書関係

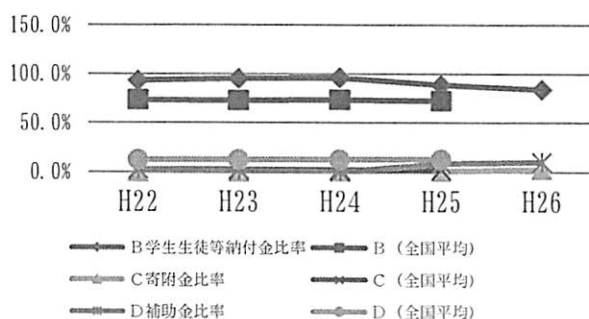
単位：千円

科 目	H22	H23	H24	H25	H26
学生生徒等納付金	358,675	522,500	665,025	681,813	678,213
手数料	14,220	13,337	13,149	13,588	12,501
寄附金	0	0	5,000	6,000	23,500
補助金	7,988	6,808	0	64,459	80,717
資産運用収入	3,093	3,923	926	202	239
事業収入	0	0	0	0	0
雑収入	697	2,334	8,785	3,759	11,833
帰属収入合計	384,673	548,902	692,885	769,821	807,003
基本金組入額合計	-243,046	-166,762	-243,092	-44,579	-77,369
消費収入の部合計	141,627	382,141	449,793	725,242	729,634
人件費	262,473	280,891	347,590	427,793	534,932
教育研究経費	124,914	137,709	165,546	172,704	199,115
(減価償却額)	65,415	69,189	74,625	66,946	69,995
管理経費	27,683	25,688	46,376	60,217	75,508
(減価償却額)	4,953	4,967	5,526	6,109	6,697
資産処分差額	1,993	2,775	227	83	100
徴収不能引当金繰入額	770	0	0	0	755
消費支出の部合計	417,833	447,062	559,739	660,797	810,409
当年度消費支出超過額	276,206	64,921	109,946	-64,445	80,775
基本金取崩額	0	0	300,000	0	0
翌年度繰越消費収入超過額	284,663	219,741	409,795	474,239	393,464

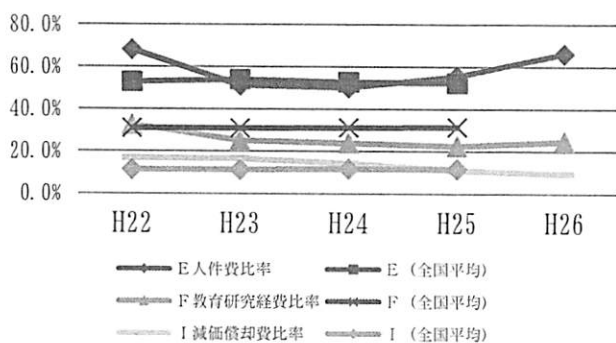
経営状況



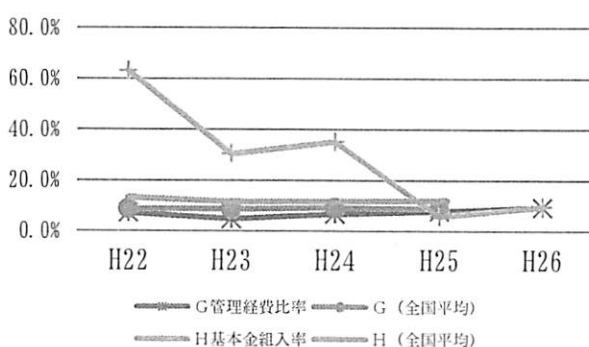
収入構成



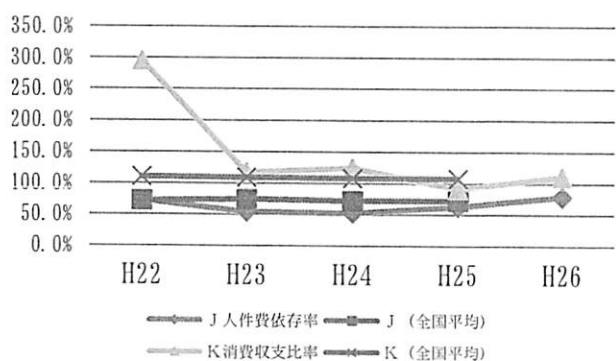
支出構成



支出構成



収支バランス



監査報告書

平成27年5月12日

学校法人青淵学園

理事長 大坪 修 殿

学校法人青淵学園

監事 増田 寛 収 郎 

監事 寺 野 彰 

学校法人青淵学園寄附行為第14条の規定により、同学園の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度に関して、業務及び財産の状況を監査したところ、業務については適正に処理されており、また財務に関しても計算書類、財産目録のとおり相違ないことを確認します。